

平成 28 年度
第 2 回大月市都市計画審議会

会 議 録

日 時：平成 29 年 3 月 3 日（金）

場 所：大月市民会館 4 階 会議室

大月市都市計画審議会出席者名簿

1. 審議会委員

(1) 出席者（14名）

		(役 職)
飯高秀治	大月市教育委員会 教育委員	会長
天野太文	大月商店街協同組合 理事長	職務代理
石井 寛	大月市消防団団長	会議録署名委員
傳川和徳	中日本高速道路(株)大月保全 サービスセンター 副所長 (所長代理)	
和田之男	山梨県建築士会 大月支部	
古見金弥	市議会議員	
山田善一	市議会議員	
鈴木章司	市議会議員	
小林信保	市議会議員	
宮川俊樹	大月警察署長	
堀田博昭	国土交通省大月出張所 専門員 (所長代理)	
渡邊 茂	富士・東部農務事務所 農村整備振興幹 (所長代理)	
高井達也	富士・東部建設事務所 所長	会議録署名委員
宮咲寛也	大月市農業委員会会長	

(2) 欠席者（1名）

萩原 剛 市議会議員

2. 事務局（5名）

市川 学	産業建設部 部長
上條正巳	地域整備課 課長
三澤弘人	地域整備課 都市整備担当 主幹
石井嘉俊	地域整備課 都市整備担当 主査
佐野憲正	地域整備課 都市整備担当 主査

3. 議案内容説明者

石井嘉俊	地域整備課 都市整備担当 主査
------	-----------------

(開会：午後1時30分)

(事務局)

本日は、大月市都市計画審議会の開催にあたり、委員の皆様におかれましては、何かとご多忙の中をご出席いただき、誠に有り難うございます。

只今より、平成28年度 第2回大月市都市計画審議会を開会いたします。

次に、会議の開会にあたり、本審議会の成立について報告いたします。

審議会の委員は、15名となっており、本日出席された委員さんは14名で、欠席された委員さんは1名です。

従いまして、「大月市都市計画審議会条例」第6条第1項の規定に基づき、委員の2分の1以上のご出席をいただきましたので、本日の審議会が、成立しておりますことをご報告いたします。

それでは、審議に移る前に飯高会長よりごあいさつをいただきたいと思います。
飯高会長、お願いいたします。

(会長)

— あいさつ —

(事務局)

続きまして、議事に入る前になりますが、大月市 産業建設部 部長より報告が
ございます。 よろしく願います。

(産業建設部長)

— 報 告 —

(事務局)

それでは、都市計画審議会条例に基づき、会長が審議会の議長となりますので、
これより飯高会長に議事を進めていただきます。 よろしく願います。

「会議録署名委員指名」

議事にはいりますが、本日の会議の会議録署名委員の指名させていただきます。
高井達也委員と石井寛委員をお願いしたいと存じます。

(委員)

異議なし

「議事1」 大月市 都市計画に関する基本的な方針（おおつき創生都市計画マスタープラン）計画案の修正、意見に対する対応について

（委員）

資料3の3ページの市の考え方について、今日、私と副議長で市長と桂台について話をしたが、市長の考え方と相違がある。誰の考え方なのか。

（事務局）

市の考え方は、担当課で考えて作成しました。市長の考え方を確認します。

（委員）

市長の意見と食い違いがある。

（事務局）

該当箇所については、今日この場では解決できないので、市長に確認し後日お届けします。

（委員）

大月市は、市域が東西に長く中央道延長も28kmに及ぶ。上野原市には、談合坂サービスエリアがあり近くスマートインターチェンジができる。大月市も将来的にはスマートインターチェンジを整備するという夢のあるような内容も盛り込むべきではないのか。初狩バイパス、大月バイパス延伸、新笹子トンネルの記述も盛り込むべきではないか。

（事務局）

スマートインターチェンジについては、大月市の地形の関係上、図等の具体的な記述はできないが、前向きな表現で追加記述する予定です。初狩バイパスは、国交省からも困難と回答をいただいている。新笹子トンネルについては、詳細設計段階であると伺っている。可能な範囲で本文に盛り込んでいきたい。

（委員）

本計画は、長期にわたる計画であり記載することで実現性も出てくるので、スマートインターチェンジの記載を盛り込んでいただきたい。

（委員）

今後、立地適正化計画を策定していく上で、独居高齢者の受け入れ施設の検討が出てくる。市長が考えている介護の聖地整備には、賛成でありサービス付き高齢者住宅は、桂台にふさわしい施設だと思う。桂台にサービス付き高齢者住宅を整備すれば、介護が必要となった場合でも、桂台に誘致する福祉介護施設で対応できるので、積極的に誘致してもらいたい。桂台誘致想定施設の面積だが、やまびこ支援学校23,000㎡、もえぎ寮6,800㎡、富士修紅学院専門学校8,000㎡と資料にはあるが、それら以外にサービス付き高齢者住宅を整備する余地はあるのか。残らないのであれば、やまびこ支援学校は旧富浜中学校へ誘致する方がいいのではないか。

(事務局)

富士修紅学院専門学校は、生徒数80人、教職員10人程度であり、校庭は必要ない。校舎は木造2階2, 500㎡想定であり、面積は充分足りる。サービス付き高齢者住宅だけでなく福祉介護施設の誘致スペースは確保できる。

(委員)

具体的にどのくらい残るのか。

(事務局)

2.5ヘクタールほど残ると思います。

(委員)

本編184ページに将来の独居高齢者対応の方針として、サービス付き高齢者住宅の表記を追加すべきではないか。

(事務局)

高齢者福祉施設という表記で記載したい。

(委員)

大月市の都市計画マスタープランは、長い間見直してこなかった。今後の見直しは、いつどのような基準で行われるのか。

(事務局)

都市計画マスタープランの見直しは、上位計画である総合計画見直し後が本来の形であるので、通常なら次回は、第7次総合計画見直し後になると思います。

(委員)

商店街協同組合は、現在60店舗加盟しており、今回提案・要望を出させていただいた。今後計画を進めていく際は、協議しながら進めていただきたい。

(事務局)

市としても協議・連携をお願いしたい。

(事務局)

ご意見いただいた、スマートインターチェンジ、サービス付き高齢者住宅、他団体との連携について、追加修正するという事によろしいか。

(議長)

本日の意見を添付し答申としたいがよろしいか。

(委員)

答申案や修正内容の確認は、委員に参集してもらるか個々に確認してもらいかどちらかの方法で行ってほしい。

(事務局)

皆さんの同意を得て答申書を作成したい。

(委員)

答申書の文面は、委員に配布されるのか。

(事務局)

答申書(案)と本日の意見による修正箇所をまとめ個々に確認していただくこと
としたい。

(委員)

答申には期限があるのか。

(事務局)

可能であれば、年度内に答申をいただき、庁議を経て県へ提出したい。

(議長)

答申案を確認いただき、同意を得て答申することとさせていただきます。

(事務局)

来週の早い時期に答申案作成し説明に伺います。

(閉会：午後2時30分)

会議風景

